



チャレンドリ（SOMPOチャレンジド公式キャラクター）がお届けするニュースレターの第10号です。ちょっと一息入れたいときのコーヒーのお供になるような、ほっとするニュースレターを目指しています。



当社公式
ホームページ
QRコード



「SOMPOチャレンジドパーク」には何が隠れているのか？イラストに込めた情報や障がいについて毎号紹介していきます！

今回は「働きやすい環境」として新宿地区の執務室の引っ越し及びC-プロジェクト（チャレンジドメンバーの自主運営企画）について、「個人・組織の成長」としてチャレンジドメンバーの第41回全国障害者技能競技大会出場候補選手選考会金賞受賞についてご紹介します！

2021年5月17日、新宿のデリバリー・事務サポートチームと第一・第二事務サポートチームは、損保ジャパン本社ビルの地下1階から37階に引っ越しました。そのときの苦労話や感想を聞いてみましょう。



●引っ越しで大変だったことは？

- 業務に引っ越し準備にテレワークもあり、気づけなかった。
- 腰痛があるので（重い荷物の持ち運び等）気がつけた。
- 棚への収納は確認しながら行ったり来たり大変。
- 引っ越しあるある。何をどこに入れたかわからず。
- 箱が大量にあり、目的の箱を探すのに苦労した。
- 自分の荷物が思ったより多くて大変。



●引っ越してよかったことは？

陽の光を浴び、幸せホルモン（セロトニン）が分泌され、気持ちの安定・幸福感・満足感が増した。

トイレが2か所。水道も温かいのと冷たいのがある。

窓から絶景。晴れの日にはスカイツリーや国立競技場、新宿御苑がよく見え、雨の日にはまるで雲の中にいるよう。

複数チームが1つに集まったことで一体感が出て、メンバー間の風通しやサポート効率も上がった。



新宿駅が良く見え、中央線と山手線が並んで走る姿はまるでジオラマのよう。

歩く歩数が増え、少し健康的になった気がする。

オフィスが広く、とても作業しやすい。

他チームのメンバーともコミュニケーションとることが増えた。

昼食の外出がなくなり、お弁当を作るようになった。

窓があり、リフレッシュできる。



●引っ越して困ったことや気を付けていることは？

エレベーターの待ち時間の分まで計算しないといけないので、朝の通勤、昼休憩の時間がまだ読めていない。

外の空気を吸いに行くのに時間がかかる。

B1のメールセンターまで遠くなった。

バーコードリーダーなど忘れ物をすると、取りに帰るのに時間がかかる。忘れ物を極力しないよう注意する必要性が出てきた。

窓からの日の光はうれしくもあるが日焼けが心配。

37階に自動販売機がない。

B1より蒸し暑い。



何事にもメリット・デメリットの両面がありますが、B1から37Fへの移転を経験した皆さんの感想から、総じて良かったようです。引っ越しの苦労も経験し、創意工夫をして、新しい環境に順応するメンバーの姿には頼もしさや成長を感じます。

事業第二部第一グループ新宿第一事務サポートチームの荒井剛さんが

「第41回全国障害者技能競技大会出場候補選手選考会」(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構主催)の【喫茶サービス】競技にて金賞を受賞しました。

荒井さんは本年12月に東京で開催される「第41回全国障害者技能競技大会(全国アビリンピック)」への出場が決定しています。今回の競技参加・金賞受賞について、荒井さんにインタビューしました。



①金賞を目指して、努力したこと・工夫したことは何ですか？

大会当日までモチベーションを保つため、規則正しい生活を心がけ、仕事上での悩みなども鶴飼リーダーに相談し、心にも余裕をもたせて挑みました。

②今後の業務に活かせるようなことはありますか？

接客は、相手の表情、動作などをしっかりみて、臨機応変に対応します。そのため、メンバーが何かで困っているなど感じたら声をかけてあげるなど、いろんな場面での気づきを活かしていきたいです。

③意識面で変わったことはありますか？

金賞を取った事により、人への接し方が柔らかくなりました。感情的にならず、まずは、相手の話を聞くということができるようになりました。



④次のチャレンジ目標はありますか？

全国大会がありますので、全国で1位になることが目標です。

⑤最後に、金賞受賞は本当にすごいことだと思います。何か社内に向けて、言っておきたいこと、アピールしたいこと、はありますか？

アビリンピックには、私の出場した喫茶部門以外にも、HP作成、データ入力、清掃、軽作業など、私たちの仕事に直接関連した部門もあります。これをきっかけに、他のメンバーも参加してほしいです。来年は職場のメンバーと参加したいです。

「Challenged projects～みんなで創るチャレンジド～」として社内横断でチャレンジドメンバー主催の「お互いの障がいを理解するための勉強会」を実施しました。

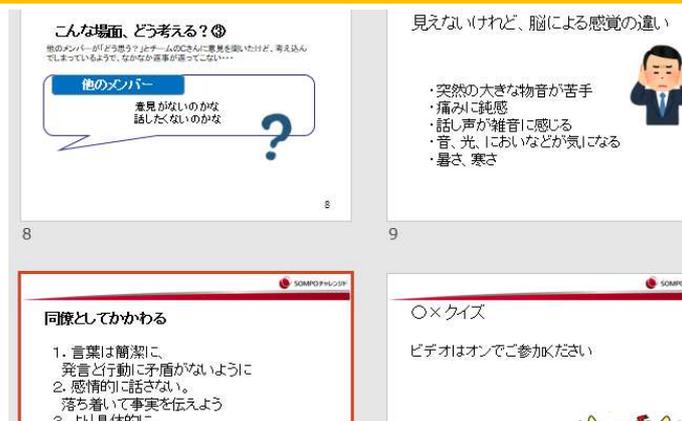
「Challenged projects」とはチャレンジドメンバーのやりたい活動を、メンバーが主体となって、全員が参加できる活動を目指し企画運営するものです。その一環としてメンバーの障がいを理解するための勉強会を開催しました。

勉強会実施までWebを使用して西東京・新宿・日本橋のメンバーが複数回のミーティングを行いました。どのような企画がいいのか社内でアンケートを取り、企画実施のために何が 필요한のか、メンバーに楽しんで参加してもらうためにはどのような工夫が必要なのか真剣に話合いました。

勉強会はWebを使用し、拠点横断で実施しました。勉強会は「お互いの障がいを理解する」ために自閉症スペクトラムと

統合失調症についての理解を深める内容としました。一方的な講座にならないように〇×クイズなどを盛り込むなど、参加者一体型の勉強会となりました。参加メンバーからの感想を紹介します。

- ・コミュニケーションが少ない今だからこそ、こうした機会が増えていくといいなと思います。
- ・とても理解やすく、知りたいと思っていた事を学ぶ機会を頂けた。
- ・障がいの名前だけを知っていてどのような障がいなのか詳細が今まで分かりませんでしたが、この勉強会によってどのように接していけばいいのかまで理解することが出来たのでとても有意義な時間だったと思います。
- ・みんなが楽しそうにしていたので自分も楽しくなりました。



勉強会当日資料

お知らせ

今年度チャレンジドパークのイラストを更新いたします。更新にあたりまして当月号を「チャレンジどたいむ」の最終号とし、イラスト更新後に新たに発刊いたします。それまでしばらくのお別れです。またお会いできることを楽しみにしております！

